



令和 7 年 11 月 26 日

東北数学教育学会「第 57 回年会」プログラム (第二次案内)

東北数学教育学会会長 森本 明

第 57 回年会当番校 菅原 敏彦

東北数学教育学会事務局

東北数学教育学会第 57 回年会を以下のプログラムで開催します。

今回は、東北福祉大学（仙台駅東口キャンパス77教室）における対面での開催となります。

ご参会のほどよろしくしお願い申し上げます。

1 日 時 2025（令和 7）年 11 月 29 日（土） 10:00—15:40

2 会 場 東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス 7 階 77 教室

宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-5-26

JR 仙台駅徒歩 3 分，地下鉄東西線宮城野通駅徒歩 3 分

※駐車場，駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

<https://www.tfu.ac.jp/access/higashiguchicampus.html>

3 参加費 無料

4 プログラム

9 : 4 0 ~	受付
1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 1 0	開会行事 ・ 会長挨拶 ・ 会場校あいさつ ・ 諸連絡
1 0 : 2 0 ~ 1 0 : 5 0	研究発表①
1 1 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0	研究発表②
1 1 : 4 0 ~ 1 2 : 1 0	研究発表③
1 2 : 1 0 ~ 1 3 : 1 0	昼食
1 3 : 1 0 ~ 1 3 : 5 0	ポスターセッション
1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0	研究発表④
1 4 : 4 0 ~ 1 5 : 1 0	研究発表⑤
1 5 : 2 0 ~ 1 5 : 4 0	総会

<開会行事次第>

- 1 開会（事務局）
- 2 会長挨拶（森本 明）
- 3 会場校挨拶（菅原 敏彦）
- 4 会場校からの諸連絡（菅原 敏彦）

5 研究発表（10:20～12:10）（13:10～13:50）（14:00～15:10）

午前（前半） 座長：花園 隼人（宮城教育大学）

発表 ①（10:20～10:50）

発表者氏名（所属）：信夫 智彰（愛媛大学）

発表題目：不可能性の証明の意義に関する一考察：さいころの確率を題材として

キーワード：不可能性の証明，論証，さいころ

発表概要：

本研究は、数学教育における不可能性の証明の意義について検討することを目的とした実践研究である。大学生を対象に「2つのサイコロの目の積が奇数になる確率が $1/2$ になるように、サイコロの6つの目を合計「21」になるように適当に自然数をふり直す。どのようなサイコロにすればいいか」という問題を基に授業実践を行った結果を基に考察する。

発表 ②（11:00～11:30）

発表者氏名（所属）：大場 彩加（秋田大学大学院教育学研究科・院生），

原田 勇希（秋田大学教育文化学部）

発表題目：直近12年において中学生の数学に対する動機づけはどのように変化したのか
——期待×価値理論にもとづくTIMSS2011から2023までの分析——

キーワード：動機づけ，期待×価値理論，数学教育，主体的な学び，TIMSS

発表概要：

昨今の数学教育では主体的な学びが重視され、生徒の動機づけの向上を目指す教育政策と授業実践が推進されてきた。しかし、その変動を定量的に把握した研究は少ない。本研究ではTIMSSの公開データを用い、日本の中学2年生の動機づけの変動を計量的に検討した。

午前（後半） 座長：菅原 敏彦（東北福祉大学）

発表 ③（11:40～12:10）

発表者氏名(所属)：花園 隼人（宮城教育大学）

発表題目：中等教育数学科教員志望学生の授業記述能力の比較

キーワード：職能開発，教員養成，デザイン研究，授業記述

発表概要：

本研究では，教員志望学生が，数学の授業を記述する能力をどのように育んでいるかを明らかにするために，学生による観察記録の学年横断的な比較を行った。その結果，学年進行に伴い，記録に多様な表現が用いられること，事実と意見を区別するようになることといった展が確認された。

午後

ポスターセッション（13:10～13:50）

発表者氏名(所属)：大田 千尋（福島大学教職大学院教育実践研究科・院生），
大橋 淳子（福島県教育委員会）

発表題目：ミドルリーダーのかかわりによる算数科の授業における若手教員の信念の変容

キーワード：算数科の授業における信念，ミドルリーダーのかかわり，算数科の授業の省察

発表概要：

本研究では，若手教員がミドルリーダーのかかわりにより算数科の授業における信念をどのように変容していくのかを考察した。若手教員3名に対し，質問紙調査と授業後の省察に関するインタビュー調査を実施し，省察内容の分析とSCATを用いた質的分析を行なった。

午後 座長：森本 明（福島大学）

発表 ④（14:00～14:30）

発表者氏名(所属)：米田 陽人（宮城教育大学大学院教育学研究科・院生）

発表題目：小学校算数科の「練り上げ」における「問い」の設定過程に関する研究

キーワード：練り上げ，問題設定，問い，グラウンデッド・セオリー・アプローチ

発表概要：

本研究の目的は、グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて、算数科の「練り上げ」における「問い」の設定過程を構造的に捉えることである。結果として、「異なる考えや視点の共有」，「論の完成に向けた残された課題の焦点化」，「比較の観点をもとにした問いかけ」など，練り上げの成立に関わる問いの性格が明らかになった。

発表 ⑤（14:40～15:10）

発表者氏名(所属)：佐藤 健也（宮城教育大学大学院教育学研究科・院生）

発表題目：中学校数学科における「数学化」を実現する学習指導に関する一考察
—単元「平行と合同」に焦点を当てて—

キーワード：数学化，RME 理論，平行と合同，演繹的推論

発表概要：

本研究の目的は，中学校数学科単元「平行と合同」において，RME 理論に基づき事象の探究から新たな数学的構造を追発明する「数学化」を実現する授業を開発することである．model-of/model-for の転換を踏まえて小単元を構成し，演繹的推論の創出を目指す教材を開発した．

6 総会（15：20～15：40）

出席は，会員の方のみとなります。

7 参加にあつて

◎参加者・参加人数等を把握するため、以下から参加のお申し込みを願ひします（前日までに願ひします）。なお、発表のお申し込みをされた方も、参加のお申し込みを願ひします。

<https://forms.gle/VMBsK7oG4o5RRoPL7>

→ 参加申込のフォームのURL



スマートフォン等で左のQRコードを読み込んで
いただいても申込フォームに接続します。

8 今年度年会費の振込みの願ひ

年会費（¥2,000）は振込みにて願ひいたします。

（すでにお支払いいただいている方におかれましては、二重のご案内になつてしまい申し訳ございせん。）

振込先は以下の通りです。

【金融機関名】 ゆうちょ銀行

【店名】 八一八（読み ハチイチハチ）

【店番】 818

【貯金種目】 普通貯金

【口座番号】 4328089

※大変申し訳ありませんが、手数料がかかった場合はご負担を願ひいたします。

9 その他

昼食は仙台駅周辺のお店をご利用ください

東北数学教育学会事務局

秋田大学教育文化学部 数学教育研究室内

電話 0 1 8 - 8 8 9 - 2 5 3 2

e-mail skato@math.akita-u.ac.jp

担当 加藤 慎一 (KATO Shinichi)